高等部道徳科学習指導案 『印刷工場での出来事』

**１　主題名**　勇気を出す　A-（４）希望と勇気　克己と強い意志

**２　ねらいと教材**

（１）ねらい

・勇気を出す

・困ったことや恥ずかしいと感じることについて、相手に伝えてみようという気持ちをもつことができる。

・勇気を出して、自分の気持ちを相手に言葉で伝えることができる。

（２）教材　印刷工場での出来事（P24-27）

**３　主題設定の理由**

本主題は、以下の中学校新学習指導要領「特別の教科 道徳」（平成２９年３月告示）の内容項目のねらいを受け、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じるとともに、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を一層高めるために、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化した。

|  |
| --- |
| A　主として自分自身に関すること　（４）　希望と勇気　克己と強い意志より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 |

（１）ねらいとする道徳的価値について【価値観】

相手に対して、自分の気持ちを伝えられることができるということは、よりよい人間関係を築くことにつながる。また、将来の人間関係作りにもつながる。しかし、実際の生活の中では、自分の困っていることについて、表現できないことがある。実際に、相手に自分の困っていることを言葉で伝えることで、どのような人間関係の深まりがあるのかを体験し、勇気を出して、相手に自分の気持ちを伝えられることができる態度を育てていきたい。

（２）生徒の実態について【生徒観】

自分の気持ちを簡単な言葉で書き表すことができる生徒を対象とする。字を書くことが苦手な生徒に対しては、話し言葉での表現を代筆する、タブレット端末を使用するなどの配慮を行う。

日常の学校生活においては、生徒指導や特別活動、また自立活動を中心に、自分の気持ちを考えたり、表現したりする学習活動と関連させる。

家庭生活の中でも困り事が生じた場面では、気持ちを察して、周囲が先に行動したり、解決したりせずに、本人が気持ちを伝えられるような関わりがもてるよう、連携を深めておく。

（３）教材について【教材観】

印刷工場での実習中に、複数の指示を出され、混乱し、ミスをしてしまった主人公が勇気を出して、自分の気持ちを課長に伝えたことで、課長や周囲の人々の主人公に対する見方が変わったのと同時に、主人公自身も自分自身の変化を感じることができる話である。

この話を読んで、主人公の仁さんの気持ちを推測する学習を行ってから、周りの人に勇気を出して、言いづらい自分の気持ちを伝えることについて考えられることができる教材である。

**４　学習指導計画**

（１）全体計画　１時間（本時）

（２）準備　場面絵、補助プリント

（３）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動（主な発問） | 予想される生徒の発言 | 指導上の留意点☆評価の観点 |
| 導入 |  | １　「困った」と感じた経験を思い出す。・困った時にどのようにしたかを思い出す。 | ・忘れ物をした・物を無くした・わからない・なにもできなかった・相談した・手伝ってもらった | ・これまでの経験を振り返る。・困った経験やその時の行動に関する発言を引き出す。・発言を板書に残しておく。 |
| 展開 |  | ２　教材「印刷工場での出来事」を読む。・仁さんの行動や周りの人の反応について、補助プリントを用いて確認する。課題　困っていることを周りの人に伝えられるかを考えてみよう。〇みなさんは、困っていることを、周りの人に伝えられるでしょうか？・P26ページに自分の考えを記入する。・書いたことを発表する。３　ロールプレイをする。・困った場面の場面絵を見て、どのように行動するかを考えて、実践する。〇行動してみて、どのように感じたでしょうか。 | ・伝えられる。・伝えられない。・ドキドキする。課題　困った場面で、どのように行動するか、考えて実践してみよう。・ドキドキした。・上手く伝えられなかった。・難しかった。・伝えられた。 | ・仁さんの行動によって、仁さん自身や周りの人に変化が起きたことに気づくようにする。・伝えられる、伝えられないについて、生徒自身の思いを大切にする。☆相手に自分の気持ちを伝えてみようと思える。（態度）・生徒の身近な困った場面の場面絵を用意する。・失敗しても、言葉に詰まっても大丈夫であるという環境を作り、生徒が自ら考えて実践できるようにする。 |
| 終末 |  | ５　困った場面で、自分の気持ちを工夫して、伝えられたことを称賛する。・勇気を出して、自分の気持ちを伝えることで、自分自身や周りの人が変わることに期待をもてるようにする。 |  | ☆勇気を出して、相手に自分の気持ちを伝える。（知・技） |

（４）終末での教師の説話例

恥ずかしいと感じたり、言いづらいと感じたりすることは誰にでもあることを話す。自分の気持ちを相手に伝えたことで、その後の日常生活や社会生活で過ごしやすくなったことの教師自身の体験として話す。

また、困ったことや失敗してしまったこと、分からないことを相手に伝えることは緊張するけれども、伝えないことで、ずっと、そのことを考えてしまって、さらに困ったことになってしまったことを伝える。

今でも自分の気持ちを伝える時には緊張するけれども、伝えた後には困ったことが減ったり、過ごしやすくなったりすることを伝える。